

地球にやさしい工法はこれ

より低負荷な浄化工法

近年SDGs等の提唱など浄化工法も汚染をただ浄化するだけでなく、より環境への負荷が低いことが求められています。そこでミネラルの持つ浄化工法・材料のうち、低CO2発生量、環境への低負荷など地球にやさしいものをご紹介します。

重金属汚染対策



STA-M:
天然にも広く存在する炭酸マグネシウムを原料としたMgO系不溶化材で、従来のセメント系不溶化材より低pH(10.5以下)です。

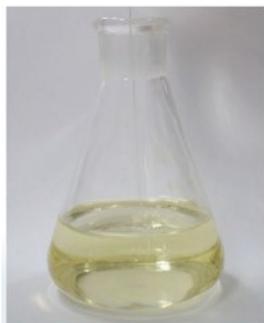


MSI-X:
地球の主要構成元素の一つであり、環境中に広く存在する鉄を主成分とした重金属吸着剤・不溶化材です。

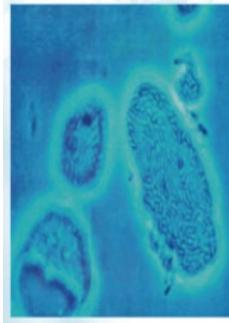


JITマット工法:
重金属を吸着する特殊なマットを汚染土の下に設置することにより、周囲への汚染を防ぐ工法です。従来の工法と比較して重機を使用せず、人力だけで設置が可能で短工期・低CO2発生量が特徴です。

VOCs・油汚染対策



▲バイオ栄養剤“MED”



▲油分解の微生物

バイオ工法:
微生物を利用して汚染を浄化する工法で土着菌を活性化させる特殊な栄養剤や汚染を分解する微生物と栄養剤を土壤に注入することでVOCs・石油を分解します。掘削除去に比べて薬剤を注入するだけですむため低CO2発生量であることが特徴です。



MSI-N901T:
鉄粉表面に特殊な触媒をコーティングすることにより土壤中のVOCsを分解する鉄粉です。浄化後は安全な鉄粉として土壤中に残るため、環境への負担が低いのが特徴です。